観聚和泉だより

観聚学舎　狛江市立狛江第一小学校
１１月号
令和８年１０月３０日発行

「『ふつう』って何だろう？」

～ 一人一人の違いを知る…「多様性」への気付き ～

統括校長　所 水奈

木々色づきや朝晩の冷え込みに秋の深まりを感じます。

先日の運動会では、たくさんの保護者・地域の皆様方に御参観いただき、ありがとうございました。温かい応援と拍手に励まされ、子どもたちは一層「本気」「全力」で挑み、達成感いっぱいの思い出をつくることができました。



【誰もが全力を出し切った運動会】

また、受付や案内、終了後の片付けなどの御協力もいただき、PTA を中心とした保護者や地域の皆様方の御支援があってこその運動会であったと深く感謝申し上げます。

さて、２学期も折り返し地点を過ぎ、どの学年も「実りの秋」となるよう、日々の学習も友達（他者）との関わりもより広げ、深めているところです。

４年生では、年間を通して総合的な学習の時間で「多様性」をテーマに取り組んでいます。１学期は自分たちの学級・学校の中で、「誰もがよりよく過ごせるため」の工夫を探しました。エレベーターやスロープなどの設備をはじめ、給食での食物アレルギー対応等、様々な気付きがあり、「みんなが平等に、公平であるためのもの」とまとめていました。特に、ある学級での漢字50問再テストの仕方（子ども一人一人に応じた出題数の調整）については、子どもたちは「これも『多様性』！」と取り上げ、担任が「みんなは、それを不平等や不公平とは思っていないの？」と尋ねたところ、子どもたちは口々に「自分なりにがんばっていることだから不公平にはならない。」「一生懸命やっているんだから、それは大丈夫。」などの言葉が返ってきました。子どもたちの中に、努力している自分や友達への理解と、それぞれの学び方の違いを受け止め認める心が育まれていることに感動した瞬間でした。

そんな4年生が更に「多様性」を学べるよう、この2学期、一般社団法人 UNIVA の武田 緑さんを講師としてお招きし、「ふつうって何だろう？」の授業を行いました。「休み時間、外で遊ぶのはふつう？」「運動会の前の日はどんな気持ち？」などの質問への答えや話合いから、子どもたちは「『ふつう』は一人一人違うこと」「友達と同じ気持ちでも、そう思う理由が違うこと」に驚き、「ふつう」の捉えを新たにしていました。



【「ふつう」について話し合う子どもたち（4年生）】

なお、「多様性」ですが、実は、児童運営委員会のスイッチワード「かがやけ！にじいろのほし★」の子どもたちのメッセージの中にもありました。

○みんなには、一人一人個性がいっぱいあり、その一人一人を大事にしたい。
○“一人でも欠けたら虹は完成しない” 個性を活かしてたくさん活躍！笑顔でたくさん挑戦できる学校にしたい。

「多様性」が息づいている一小のステキな子どもたちです。この子どもたち全員の中にある「多様性」の芽が更に大きく花開くよう、学校として、教師として力を尽くします。

１１月は「ふれあい月間」です。子どもたちが相互に認め合い、支え合って伸びていくことを目指し、取り組んでまいります。

今月もよろしくお願いいたします。

狛江市教育委員会
「コミュニティ・スクール通信」

１１月の生活指導
今月の避難訓練について

訓練日時：１１月５日（木）
（予備日：１１月９日（月））

１１月の避難訓練は、大規模火災を想定し、2次避難場所となっている市民グラウンドへ避難する訓練を行います。

2次避難の際は、大人数が一斉に避難することになるため、学年ごとにルートを分けて避難します。当日は、寒さが予想される際は、防寒のため、厚手の服装で登校させてくださいますようお願いいたします。

ふれあい月間

狛江市では、６月、１１月をふれあい月間とし、いじめ・不登校・問題行動等の早期発見、早期対応の取り組みを行っています。本校では、子どもたちへのアンケートや、WEBQUを行い、一人一人の抱いている困り感や、心の変化にいち早く気が付くことができるよう努めています。

御家庭でも、お子様の様子に変化が感じられたり、気になる様子が見られたりした際は、じっくりお話を聴いてあげていただけたらと思います。

今後も学校と御家庭が連携し、子どもたちの安心・安全な環境の整備に努めてまいります。どうぞよろしくお願いします。